



特集

今津寛介市長 令和5年度市政方針

旭川再起動予算

～持続可能な新たな100年への挑戦～

旭川の課題

財政・人口・産業

- 貯金が少なく、借金が多い
(中核市62市中それぞれ46位、47位)
- 市税が少なく交付税に依存した状態

旭川再起動予算に対する市長の想い

市民の皆様へ いつも市政の推進にお力添えを賜り誠にありがとうございます。私は、1年4か月前、旭川市長に就任して以来、常に重責と向き合いながら、停滞感や閉塞感を打破し、夢と希望にあふれるまちへと変えてほしいという市民の皆様の声から創り上げた公約を実現するため、失敗を恐れず先頭に立って行動してまいりました。そして現在、多くの市民の皆様に旭川が変わりつつあるその胎動を実感していただいているものと思います。一方で重要課題である新型コロナウイルス感染症対策、いじめ防止対策の推進、除排雪先進都市の実現、行財政改革などに加え、新たな課題も見えてきましたのでしっかりと対策を行っていかねばなりません。

昨年行われた旭川市市制施行100年記念式典の中で、私は「旭川市が今までの停滞を打ち破り、北海道をけん引し、我が国の中で中心的な役割を果たしていく都市に力強く生まれ変わっていく」ことを宣言いたしました。多くの魅力に満ちあふれた旭川市なら必ず実現できるはずですが、今までの慣例やしごらみを一旦リセットし、旭川の魅力に私たち自身が誇りと自信を持ち、次なる100年に向けて市民と行政が心一つに「夢と希望の旭川」創造への力強い第一歩を踏み出す。それが、私の考える「旭川再起動」です。市民の皆様笑顔あふれるまちづくりのために行動してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

- 転出超過全道ワースト1* (若者、中でも特に女性が多い) ※令和元年
- 宿泊客数が少ない* (函館市380万人に対し旭川市90万人) ※令和元年度
- 農業の後継者不足、農業生産額の減少
- 人口道内2位ながら法人所得は5位
- コロナ禍による中小企業の疲弊



市政方針の全文は市庁からご覧いただけます

課題を解決し、「夢と希望の旭川」を創造する旭川再起動予算

新型コロナウイルス感染症対策

市民の生命と健康を守るため、医療提供やワクチン接種などの体制維持

- 感染症対策官を中心に、重症化リスクのある高齢者施設、障害者施設などのクラスター対策
- 感染者の入院調整や2価ワクチン接種の推進
- 2類相当から5類への段階的移行に向けた対応

いじめ防止・教育・子育て支援

いじめ問題の真相解明と再発防止、多面的な子育て施策の新設

- 市長直属の再調査委員会による真相解明と、教育委員会と市長部局が一体となって対応を行う「旭川モデル」の取組みの開始
- 中学生までの医療費無償化や妊娠・出生時の現金給付
- 大学等入学時に最大50万円、2年生以降に毎年10万円を給付する奨学金の新設
- 小・中学校の給食費について、値上げ分を全額公費負担
- 旭川市立大学・短期大学の開学

除排雪先進都市

過去最大の当初予算を計上し、さらなる除排雪体制の強化

- 国・道・市の連携協定による取組みの強化、予算の裏付けによる先を見据えた従業員の雇用、除雪機械の確保
- オペレータの不足に対応する免許取得の補助
- ETC2.0や積雪センサーなど、除排雪の効率化に向けたデジタル技術の導入推進
- 除雪の見える化による情報発信や旭川市雪対策基本条例(仮称)の制定、住宅の融雪施設等設置費用の補助制度を継続



女性活躍の推進

女性が抱える課題の整理、人口減少が顕著な特に若い女性の社会減の抑制

- 仕事と育児・介護・キャリアアップなど、女性が抱える課題を整理
- 女性に係るワンストップの相談窓口や就労支援
- 女性のキャリア形成支援セミナーの開催

経済・まちづくり

IT企業誘致、創業支援や中小企業支援、デザイン創造都市の推進、食関連産業の活性化

- IT企業の誘致を促進するため、優位性のある誘致制度を創設する他、起業・創業、新分野進出といった新たな挑戦に取り組む事業者を支援
- 中小企業振興資金融資制度による信用保証料補助や利子補給継続
- チーフデザインプロデューサー(CDP)を招へいし、市内企業のデザイン経営導入のアドバイス等
- CDPを中心にデザイン思考で地元農産物や食の稼ぐ力を高める「フードフォレスト旭川構想(仮称)」を展開
- ユネスコ創造都市のサブネットワーク会議(デザイン)の旭川開催に向けた立候補等
- 買物公園の活性化に向けたあり方の検討
- 地域公共交通網形成計画の見直しや持続可能なバス路線網の構築
- 航空路線の積極的誘致

1次産業・ゼロカーボン

1次産業の活性化、再生可能エネルギー導入支援

- スマート農業や高収益作物への導入支援
- 地球温暖化対策実行計画の改定
- 再生可能エネルギー設備等の導入補助の倍増
- 地域木材を活用した省エネ住宅を新築した場合の補助制度を新設

観光・スポーツ

力強い観光業の復活、コンベンション予算の拡充、スポーツ参加機会の増加

- アドベンチャートラベルの世界最大イベント「アドベンチャートラベル・ワールドサミット2023北海道」に参画
- 各種学会、大会等コンベンションの誘致強化
- インバウンド回復を見据えた海外プロモーション
- 旭川にゆかりのあるスポーツ選手に就任していただく、旭川スポーツみらいアンバサダー(仮称)制度を創設
- 全国高等学校総合体育大会(インターハイ)の開催(男子サッカー・男子バレーボール・少林寺拳法)

健康福祉都市

健康寿命を延伸し、生き生きと、安全・安心に暮らしていけるまち

- スマートウェルネス(健康福祉都市)あさひかわプランの制定
- 歩数や体重、血圧などのデータを管理できるスマートフォンアプリを提供(地域情報共有プラットフォームと連携)
- ヤングケアラー支援や生理の貧困対応等、様々な社会問題に対応

機構改革・働きがい改革

市政を推進する3本の矢として3部を新設。前例踏襲から挑戦する市役所へ

- いじめ防止対策推進部・行財政改革推進部・女性活躍推進部の3部を新設
- 国の情報収集や発信、大規模事業など、重要施策を担う市政補佐官を国から派遣を受けて設置
- 働きがい等、職員的能力が最大限発揮される環境整備

DX・伝える広報

目指すは5年後に日本一の窓口。スマートフォンアプリによる地域情報発信

- 地域活動や市政情報を発信するスマートフォンアプリ(地域情報共有プラットフォーム)の運用開始
- 新庁舎開庁に合わせた窓口改革、AIによる24時間365日の問い合わせ対応、電子申請、タブレットの導入、アプリの活用など大幅な市民サービスの向上
- ホームページ、SNSの機動性向上による効果的な情報発信

徹底した行財政改革、自主財源の確保及び国・道との連携強化による財源の獲得

持続可能な将来世代に負担を残さない財政基盤の構築

- 行財政改革推進プログラム2020を改訂
- 全事業の総点検による歳出削減の大胆な取組み
- ふるさと納税や企業版ふるさと納税等、自主財源の確保
- 未来への投資と効果的な地域経済活性化対策により、市民税や固定資産税などの税収増を目指す
- 国・道の交付金、補助金のさらなる獲得や連携

未来に責任ある市政

大規模事業の課題に道筋

- 市民文化会館の建替えに向けた基本構想、花咲スポーツ公園の再整備基本計画、次期一般廃棄物最終処分場の基本計画、旧優佳良織工芸館等の活用に向けた所有者との協議など、方向性や優先順位などを整理



新型コロナウイルス感染症対策

市民の生命と健康を守る感染症対策

現行の感染症対策の継続

- 24時間コールセンターによる相談対応
- PCR行政検査、入院医療費の公費負担
- 重症化リスクの高い施設等でのクラスター発生時の感染管理指導
- 新型コロナウイルス感染症疑いの患者を診療する1次医療機関の支援
- ワクチン接種の推進など



2類相当から5類へ段階的に移行する
5月8日以降は国・道の動向を見極めながら対応

女性活躍の推進

女性活躍推進部の設置

- 女性の多様な働き方の推進
- デジタル社会に対応した女性の就労支援
- 女性に係るワンストップ相談機能 など



女性デジタル人材・起業家の育成

デジタルスキルの習得や企業とのマッチングを支援し、デジタル社会に対応した女性の再就職や起業を促進

パートナーシップ制度の導入

いじめ防止・教育・子育て支援

いじめ防止等に「旭川モデル」で取り組む

旭川モデルとは

市長部局にいじめ防止対策推進部を新設し、市長部局と教育委員会が一体となり、いじめ防止等に向けて対応

いじめ防止対策推進部を新たに創設

弁護士や心理士、スクールソーシャルワーカーなどの専門職や事務職12人に、教育委員会のいじめ対策担当から併任する6人を加えた18人体制の組織。いじめ未然防止対策や、相談体制の充実、問題発生時の迅速な対応などを実施

いじめ問題については全国から注視されており、再調査委員会による真相解明と同時に再発防止の取組みが重要です。「子育てと言えば旭川！」とっていただけるよう、各種子育て支援施策の充実や物価高騰対策、本市独自の奨学金創設等、子育て世代をしっかりと支えます

再調査委員会によるいじめの真相解明

いじめ重大事態の真相解明

教育評論家の尾木直樹氏らを委員とする再調査委員会を設置し、いじめ重大事態の真相解明について、引き続き調査を実施



尾木直樹委員長へ諮問書を手交

除排雪先進都市

過去最大の当初予算規模 **35億2,150万円を確保**

除雪DXの推進（ICTの活用）

- 除雪車両の一部に映像鮮明化装置を設置
- ETC2.0を用いた除排雪の効率化、高度化
- 積雪センサー実証実験



持続可能な除排雪体制の構築に向けた取組み

- 除雪の見える化（情報発信の充実）
除雪車両の走行経路や生活道路の排雪計画などを公開
- 旭川市雪対策基本条例（仮称）の制定
- 住宅の融雪施設等の設置費用を補助
- 除雪車両の運転免許取得支援の拡充

観光・スポーツ



アドベンチャートラベル・ワールドサミット
2023北海道に参画

旭川スポーツみらいアンバサダー（仮称）創設

1市8町での大雪カムイミントラ
DMOがスタート

全国高等学校総合体育大会の開催

- 男子サッカー ● 男子バレーボール ● 少林寺拳法

経済波及効果の推計 約**4億円以上**

中学生までの子ども医療費完全無償化

今年8月から実施

- 中学生まで助成
- 所得制限撤廃
- 自己負担なし（保険適用分）

完全無償化

学校給食費の支援

食材価格の高騰に対応するため、給食費改定に伴う

増加分を
全額公費負担



旭川独自の給付型奨学金

大学等の進学と生活に係る返還不要の奨学金

- 給付額
入学時に自宅外通学 = **50万円**
自宅通学 = **30万円**
2年生以降 = **毎年10万円**

各学年
最大
100人に

旭川市立大学・短期大学部の開学

今年4月開学

旭川市子育て世代包括支援センター waka・baのさらなる充実

- 妊娠期から乳幼児期までの切れ目のない相談支援
- 第二庁舎の窓口とオンラインで接続
保育所の利用等の手続きなど



新年度から週末等プレイルーム活用

- 育児講座や健康教室
- 保護者同士の交流
- 体験プログラム など

企業等と連携した
イベント開催

妊娠・出生時に5万円を給付

妊婦届提出
面談後
5万円支給

+

出生届提出
面談後
5万円支給

=

合計
10万円支給

